

# くまとの風

NO. 89 '87/10月

冷涼たる風が 笛の音を乗せて頬を切る

鬼面の鋭い眼球にとらえられ

ひよつとこ面の動作に笑いころげ

民は暮しの神々と一体となる

葉くずれの音

揺れさだまった星の宿り

今 失いかけているものが蘇ってくる

かがり火の中で

舞手は大きな見得をきつた

